



令和元年度(2019年度)

桂雪会 総会資料

日 時 令和元年6月22日(土)

14:00~

場 所 ホテル ほていや



(自由活動コーナーで夜 8:30 まで学習をする生徒たち)

飯山高等学校桂雪会

桂雪会役員名簿（H30～R1年度）

顧問 池川 信夫 大沼 淳 岩崎 彌 猪瀬 清徳 森 司朗 （林 秀徳）
会長 関 保典
副会長 宮本 衡司 内山 英樹 吉越 英子 上松 猛
小林 厚子 太田 良夫 瀧澤 俊實 高橋 彰 吉越 明人
監事 上松 敬 岡田 敬幸

学校関係役員

校長 林 秀徳
教頭 倉田 慎司 総務・支部組織化・スクールバス
事務長 箕口 徳夫 会計
幹事 渡辺 藤夫 事務局長・総務・広報（HP）・教育環境整備・桂雪アカデミー・名簿作成
幹事 岩上 寿昭 事務局次長・総務・支部組織化・教育環境整備・桂雪会報
幹事 小林 至 総務・支部組織化・教育環境整備・マイクロバス・クラブ活動支援
幹事 小林 幸太郎 名簿作成・広報（HP）・マイクロバス・教育環境整備
幹事 丸山 大樹 桂雪会報・教育環境整備・桂雪アカデミー・生徒助成・クラブ支援

池川・大沼・沼田基金 学校担当・・・林秀徳・倉田慎司・渡辺藤夫・丸山大樹

令和元年度桂雪会役員

決定している支部のみ掲載（平成30年5月現在）

職名	氏名
顧問	池川 信夫
顧問	大沼 淳
顧問	岩崎 彌
顧問	猪瀬 清徳
顧問	森 司朗
顧問	林 秀徳
会長	関 保典
副会長	宮本 衡司
副会長	内山 英樹
副会長	高橋 彰
副会長	瀧澤 俊實
副会長	吉越 英子
副会長	上松 猛
副会長	小林 厚子
副会長	太田 良夫
副会長	吉越 明人
監事	岡田 敬幸
監事	上松 敬

飯山支部	支部長	上松 永林
	副支部長	横川 荘一
	副支部長	村石桂太郎
	副支部長	島田 和彦
秋津支部	支部長	森山 善司
	副支部長	丸山 朗
木島支部	支部長	関 藤夫
	副支部長	澤木 伸一
瑞穂支部	支部長	増山 保範
	副支部長	岩松 義雄
柳原支部	支部長	佐藤 正夫
	副支部長	木幡喜美子
外様支部	支部長	春日 早夫
	副支部長	春日 隆
常盤支部	支部長	平野 正幸
	副支部長	
太田支部	支部長	青木 彰
	副支部長	庚 繁樹
岡山支部	支部長	井沢 清一
	副支部長	田中 康一
木島平支部	支部長	瀧澤 俊實
	副支部長	池田 充栄
野沢温泉	支部長	平田 幸男
	副支部長	富井 裕昭
栄支部	支部長	森川 博
	副支部長	
長野支部	支部長	武田 芳彦
	副支部長	瀧澤 国夫
須高支部	支部長	小林 守夫
	副支部長	大熊 文久
豊野支部	支部長	米木 善登
	副支部長	原田 茂
中野支部	支部長	大森 眞一
	副支部長	
豊田支部	支部長	吉岡 典高
	副支部長	小橋 浩樹
津南支部	支部長	島田 哲宏
	副支部長	
県外(5)		
東京関東支部	支部長	青井 富雄
	副支部長	高橋 彰
	副支部長	阿部 靖典
	会計	阿部 靖典

学校関係

校長 林 秀徳

教頭 倉田 慎司 総務、スクールバス

事務長 箕口 徳夫 会計

幹事 渡辺 藤夫 事務局長・総務・名簿作成・支部組織化・広報（HP）・教育環境整備・桂雪アカデミー

幹事 岩上 寿昭 事務局次長・総務・支部組織化・会報・教育環境整備

幹事 小林 至 総務・支部組織化・教育環境整備・マイクロバス・生徒助成クラブ支援

幹事 小林 幸太郎 名簿作成・マイクロバス・教育環境整備・広報（HP）

幹事 丸山 大樹 会報・教育環境整備・生徒助成クラブ支援・桂雪アカデミー

令和元年度 桂雪会総会 次第

令和元年6月22日(土) 14:00～

於 ホテル ほていや

進行 桂雪会事務局

第一部 総会 14:00～

1. 物故者への黙とう

2. 開式の辞

宮本 副会長

3. 会長挨拶

4. 学校長挨拶

5. 来賓挨拶

6. 議長選出

7. 議事

(1) 第1号議案 平成30年度事業報告

(2) 第2号議案 平成30年度決算報告及び監査報告

(3) 第3号議案 平成30借入金の返済について

(4) 第4号議案 令和元年度事業計画(案)

(5) 第5号議案 令和年度予算(案)

(6) 第6号議案 飯山高校の空調設備の県への寄付について

(7) 第7号議案 周年事業について(検討委員会の立ち上げを含む)

(8) その他

8. その他

(1) 池川・大沼・沼田基金について

(2) 高校再編に係る地域協議会について

(3) その他

9. 閉式の辞

吉越 副会長

第二部 講演会 15:20～

演題 『 故郷 飯山に寄せる思い 』

講師 宮崎 汎 (一般社団法人 日本モロッコ協会 理事長 S33年飯山北高卒)

- 略 歴
- 1939年3月20日 中国大連市生まれ
 - 1963年 (財)日本生産性本部に入職 この間経営開発部ならびに中小企業部にて経営教育プロジェクトの企画・開発と産業教育インストラクターを主務。
 - 1965年 わが国初のビジネススクール「経営アカデミー」の企画・設立に参加。
 - 1968年 約三ヶ月間アメリカへ「マネジメントインフォメーションシステム」研修団員として派遣される。この間総括担当部長としてスクールの運営・管理を統括。
 - 1986年 広報新聞部長として「生産性新聞」発行責任者ならびに生産性に関わる広報担当。
 - 1989年 労働関係事業本部長ならびに労働部長として労使関係プロジェクトの主務担当。連合ならびに産別労組との連携強化の促進、労使関係白書の発行、全国労組生産性会議世話人等々を兼担。
 - 1993年 情報化推進本部長ならびに情報政策部長として「情報新世紀会議」に関わる事務局責任者として、総理大臣への情報政策提言の取りまとめにあたった他、「情報化推進国民会議」事務局責任者として、わが国の情報化の促進のために地方シンポジウムなどを展開。
 - 1999年 神奈川県生産性本部専務理事に就任
 - 2011年 日本モロッコ協会専務理事就任
 - 2014年 神奈川県生産性本部退任
 - 2015年 一般社団法人 日本モロッコ協会理事長就任

専門領域 「生産性問題」「経営教育」「労使関係」等

著 書 「ビジネスマン海外出張奮戦記」日本の繁栄を支えたリーダーたち ぱるす出版

論 文 「労働時間短縮の現状と課題」「労使協議制と労使の役割」「開くインド市場」「生産性運動の原点」「アジアにおける生産性運動の歩み」等

コラム 「どこへ行った起業家精神」「春闘に思う」「文化遺産の破壊」「外来種の功罪」「寛仁親王殿下のご講話」ほか多数

- その他
- 1998年 JICA専門家派遣プロジェクトで「生産性と労使関係」をテーマにウズベキスタンへ派遣される。
 - 1998年～ (一社)日本モロッコ協会常任理事
 - 2003年～ 日本労働ペンクラブ会員
 - 2003年～2014年 神奈川経済同友会教育文化委員会副委員長



第三部 懇親会 16:30～

平成30年度 桂雪会 事業報告

- 1 総会
平成30年6月9日(土) ホテル ほていや 14:00～
(講演会:「平昌オリンピックまでの道のり、そしてこれから」岩渕香里選手)
- 2 役員会
第1回 平成30年4月27日(金) 飯山高等学校 大会議室 18:00～
第2回 平成30年6月9日(土) ホテル ほていや 13:30～
第3回 平成31年1月28日(月) なかまち食堂 17:30～
- 3 会員名簿作成
 - ・平成30年10月24日 株式会社「サラト」と契約完了
 - ・2020年1月発行予定・・・負担金100万円
 - ・平成31年4月15日 会員名簿作成確認はがき送付(全会員)クロネコDM便
 - ・平成31年4月19日 名簿・賛助金案内振込用紙(前回協力者・50～60代・前回以降の卒業生)郵送
- 4 桂雪会報の発行
 - ・第2号 平成31年2月1日付 で発行 (足立印刷)
 - ・役員、生徒・教職員に配布済、支部発送はこれから
 - ・HPに掲載予定
- 5 教育支援事業
 - ① 桂雪アカデミー
平日 19:00～20:30 週休日・休日 8:30～17:00 平日の利用者大幅増
延べ参加数 9791人 (H29延べ7424人)
 - ② スクールバス事業
 - ・実施期間 平成30年12月10日(月)～平成31年3月2日(水)(50日間)
 - ・助成金額 1,394,404円(H29年1,007,331円 H28年 1,407,637円)
 - ・利用者数 H30延べ約3500名 (H29年延べ2919名)
中野・山ノ内方面 MAX 30名 木島平方面 MAX 22名
 - ③ マイクロバス事業
 - ・桂蔭会100周年マイクロバスの更新 約400万円 マイクロバス会計より
4年間のローン契約で支払
 - ④ クラブ活動支援事業
 - ・懸垂幕・世界ジュニア大会支援
 - ・全国高校スキー大会男子総合優勝・女子総合準優勝パレード報告会 共催
- 6 教育環境整備
 - ① 校歌碑の設置(飯山北・飯山南・飯山照丘 3校)
7月27日(金) 大体育館南側の擁壁に設置
 - ② エアコン設置
教務室・印刷室、体育研究室に設置
 - ③ 第2グラウンド・弓道場前に防犯灯の設置
 - ④ 情報機器支援(プリンターのトナー等)
 - ⑤ 寄宿舎土日休日管理
- 7 その他

第 3 号議案

桂雪会飯山高校支援金について

1 収支状況

平成 30 年度(平成 31 年 4 月 26 日現在)の収支状況は次のとおりです。

項 目		金 額	備 考
収 入	前年度繰越金	1, 1 2 8, 0 8 4 円	
	貸付金返済金	1, 0 0 0, 0 0 0 円	桂雪会一般会計から
	雑収入	1 5 円	預金利息
支 出		0 円	
差 引 残 高		2, 1 2 8, 0 9 9 円	
貸 付 金 残 高		7 0 0, 0 0 0 円	桂雪会一般会計への貸付

2 桂雪会飯山高校支援金からの借入状況について

桂雪会飯山高校支援金から桂雪会一般会計において平成 28 年 10 月 26 日に借入を行いました
たが、その状況は次のとおりです。

なお、桂雪会一般会計からの返済計画は、平成 28 年度以降 2～3 か年の分割返済すること
になっています。

(1) 借入状況

- ア 借入額 2, 7 0 0 千円
- イ 借入日 平成 28 年 1 0 月 2 6 日
- ウ 使 途 飯山高校城北グラウンド野球内野整備

(2) 返済状況

- ア 返済額 2, 0 0 0 千円
- イ 返済日 平成 29 年 5 月 2 4 日、平成 30 年 6 月 1 4 日 各 1, 0 0 0 千円返済

(3) 借入残高

7 0 0 千円

桂雪会一般会計繰越金処分

1 平成30年度桂雪会一般会計繰越金の状況

項 目	金 額 (円)
平成30年度桂雪会一般会計繰越額	3,267,963

2 桂雪会一般会計借入金の状況

項 目	金 額 (円)	備 考
期末借入金残額	2,700,000	桂雪会飯山高校支援金から借入
返済済額	2,000,000	
借入金残額	700,000	

3 繰越金処分(案)

平成30年度桂雪会一般会計の繰越金のうち700千円を桂雪会飯山高校からの借入金の返済に充て完済する。

返済実行日は桂雪会総会後とする。

令和元年度 桂雪会 事業計画

- 1 総会 役員会 等
総会 令和元年6月22日(土) ホテル ほていや 14:00~
講演会 「故郷飯山に寄せる思い」 講師 宮崎 汎
役員会、代議員会は必要により随時開催する。
- 2 学校が主催する学校評議員会、職員歓送迎会、飯高祭、授業公開等に参加する。
- 3 桂雪会会員名簿作成作業・・・株式会社 サラトにより 2020年1月完成予定
※内容・構成の検討 (飯山北の最終学歴の削除、飯山高女の専攻科の記載)
- 4 桂雪会報の発行
 - ・第3号 令和2年1月下旬に発行予定
 - ・役員、支部、生徒・教職員に配布
 - ・HPに掲載する
- 5 教育支援事業の実施
 - ・桂雪アカデミー
 - ・スクールバス事業
 - ・マイクロバス事業
 - ・学業・クラブ活動支援
 - ・生徒指導助成(宿舍管理等)
- 6 教育環境整備事業の実施
 - ・情報機器支援(プリンターやトナー等)
 - ・第1グラウンドの防球ネット設置(P T Aと共同で複数年をかけて整備)
 - ・シャワートイレの増設(現在8か所)
 - ・吹奏楽の楽器の購入
 - ・W i F i 環境整備の検討及び第1グラウンドの照明や第2体育館の照明、ピロテ
ィーの天井ネット等体育施設整備の検討
- 7 高大接続、進路指導支援
 - ・職員研修の助成
 - ・生徒研修支援
- 8 周年行事の準備をどうするか？
 - ・2019年度末で以下のとおり。⇒ 2022年 or2023年の秋？
飯山中・・・1903年4月(117年)、下水内高女・・・1921年4月(97年)
照丘分校・・・1961年4月(59年)、飯山高2007年4月(12年、5年)
 - ・周年行事検討委員会の設立と検討開始(2019年度)
⇒周年行事準備委員会設立と開催(2020年度)
- 9 その他
 - ・役員組織に関する規約の検討(幹事役を設けることを検討)と次年度役員の検討
 - ・同窓生交流会館(教育文化施設)建設の研究
 - ・「飯山高校を育てる会」の立ち上げの検討
 - ・HPの設置と運営、広報活動
 - ・第2期高校再編に関する意見交換や地域協議会への協力

冷房機（パッケージエアコン）の寄付について

1 趣 旨

飯山高等学校の生徒の学習環境及び教職員の執務環境の向上に寄与するため、これまでに桂雪会が整備した冷房機（パッケージエアコン）を飯山高等学校へ寄付する。

・普通教室 18 室 18 台、音楽室 2 台、体育研究室 1 台、 計 21 台

なお、受納された場合には、維持管理経費（電気料、修繕費など）は県が負担することになる。

2 経 過

これまで県は、「同窓会等により設置する空調設備の取扱要領」により、桂雪会が毎年学校に対して設置承認申請を行ってきており、維持管理経費も会が負担してきた。

昨年度県では、夏季の災害的な高温化中で、生徒の生命・安全を守るため、緊急的に空調設備を整備することになった。計画では、平成 30 年度から 3 年間をかけて普通教室、特別教室、管理諸室を整備していくものであり、飯山高等学校においても本年度から図書館や会議室などが整備する予定になっている。

これにより県では、本年 4 月 5 日付けでこれまでの「取扱要領」を廃止し、同窓会等が設置した空調設備の維持管理経費については県が負担することとした。今後は「県立高等学校に対する備品等寄付取扱い」に基づき取扱うことになり、既に設置されている空調設備については、県が受納することになった。

3 冷房機の整備経過

(単位:円)

年 度	内 容	金 額	備 考
H24~25	普通科教室 18 教室設置(18 台)	11,041,800	
H27・28	電源改修工事(防音工事・ｷｰﾍﾞｯｸ改修)	1,836,000	
H28	音楽室設置(2 台)	766,800	本体は旧飯山北高(桂蔭会設置)エアコンを転用
H30	体育研究室(1 台)	253,800	同上
H30	教務室設置(1 台)	102,600	本体は旧飯山北高(県設置)エアコンを転用
	計	14,001,000	

4 今後の予定

- ・総会の決議後、「寄付申出書」（別紙）を飯山高等学校長へ提出する。
- ・学校においては、県教育委員会教育長に対して受納協議を行う。
- ・協議の結果、承認された場合には、学校において物品の受納を行う。

寄付申出書 (案)

令和元年6月 日

長野県飯山高等学校
校長 林 秀 徳 様

寄付者

飯山市大字飯山2610 飯山高等学校内

桂 雪 会
会 長 関 保 典

次のとおり寄付したいので申し出ます。

寄付の趣旨		飯山高等学校の生徒の学習環境及び教職員の執務環境の向上に寄与するため
物品の内容	品目及び名称	冷房機(パッケージエアコン)一式 21台 別紙のとおり
	規格、寸法、容量、総排気量等	別紙のとおり
	型式又は年式	〃
	時価見積額	〃
	経過年数	〃
その他		寄付に関して付帯条件はありません。

寄 付 物 品 一 覧 表

【別紙】

番 号	1	2
品目及び名称	冷房機 三菱電機(株)パッケージエアコン 18台	冷房機 東芝(株)パッケージエアコン 3台
規格、寸法、 容量、総排気 量等	形 式 : 空冷式冷房専用シングルタイプ 4馬力相当 冷房能力: 11.2kW 室 内 機 : 天井埋込カセット型4方向吹出し 圧 縮 機 : 2.5kW、室外送風機:0.06kW	形 式 : 空冷式冷房専用シングルタイプ 3馬力相当 冷房能力: 7.1kW 室 内 機 : 天井埋込カセット型4方向吹出し
形式又は年式	室 内 機 : PL-ERP1127BA7 室 外 機 : PU-CRP112HA11 リモコン : PAR-34MA(ワイヤード) 平成25年製	室 内 機 : ROA-AP803 室 外 機 : AIC-AP803PH リモコン : RBC-AMT31(ワイヤード) 平成19年製
時価見積額	648,270 円	92,391 円
経過年数又は 総走行距離	経過年数 5年	経過年数 11年
備 考	【設置場所】 飯山高等学校 ○管理普通教室棟 12台 2階: HR-1、HR-2、HR-3、スポーツHR-1 3階: HR-4、HR-5、HR-6、スポーツHR-2 4階: HR-7、HR-8、HR-9、スポーツHR-3 ○探究科棟 6台 1階: HR-1、HR-2 2階: HR-3、HR-4 3階: HR-5、HR-6 ■室外機: 管理普通科棟外部中庭 探究科棟外部西側	【設置場所】 飯山高等学校 ○特別教室棟 2台 1階: 音楽室(2台) ○スポーツ科学科棟 1台 2階: 体育研究室 ■室外機: 特別教室科棟外部南側 スポーツ科学科棟外部南側

「高校改革～夢に挑戦する学び～」のスケジュール

時 期	全体プロセス	個 別 項 目		
		「3つの方針」	モデル校	入学者選抜制度改革
2018年 3月	「高校改革～夢に挑戦する学び～実施方針(案)」公表			検討委員会報告書
2018年 9月	「高校改革～夢に挑戦する学び～実施方針」策定	「3つの方針」検討開始	モデル校公募開始(一次)	制度設計・新制度の周知・新たな入学者選抜の実施
2019年 3月		すべての高校で「3つの方針」の策定・公表 フィードバックシステムの検討	指定候補校公表(一次)	
2019年 9月	「高校の将来像を考える地域の協議会」全地区で設置完了		モデル校の 実施計画検討	
2020年 3月	「再編・整備計画(一次分)」策定		モデル校指定(一次)	
2020年 4月			再編により誕生する新たな学校は、「再編・整備計画」策定後、順次モデル校に指定	
2020年 9月		「大学入学共通テスト」開始		
2021年 3月	「再編・整備計画」確定		指定候補校公表(二次)	
2021年 4月	再編校設置 既存校整備	フィードバックシステム運用開始	モデル校の 実施計画検討	
2022年 3月			モデル校指定(二次)	
2022年 4月		新学習指導要領施行	計画に従って 研究や実践を実施	
2030年 3月	再編・整備完了(目標)			